様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年6月6日

北九州市長　武内和久　様

提出者
住　所　福岡県北九州市戸畑区大字中原46番地の59
氏　名　日鉄ロールズ株式会社
代表取締役社長　藤野　真
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号093-872-7105

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 10 項の規定に基づき、令和 4 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	日鉄ロールズ株式会社
事業場の所在地	福岡県北九州市戸畑区大字中原46番地の59
事業の種類	圧延ロールの製造販売
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

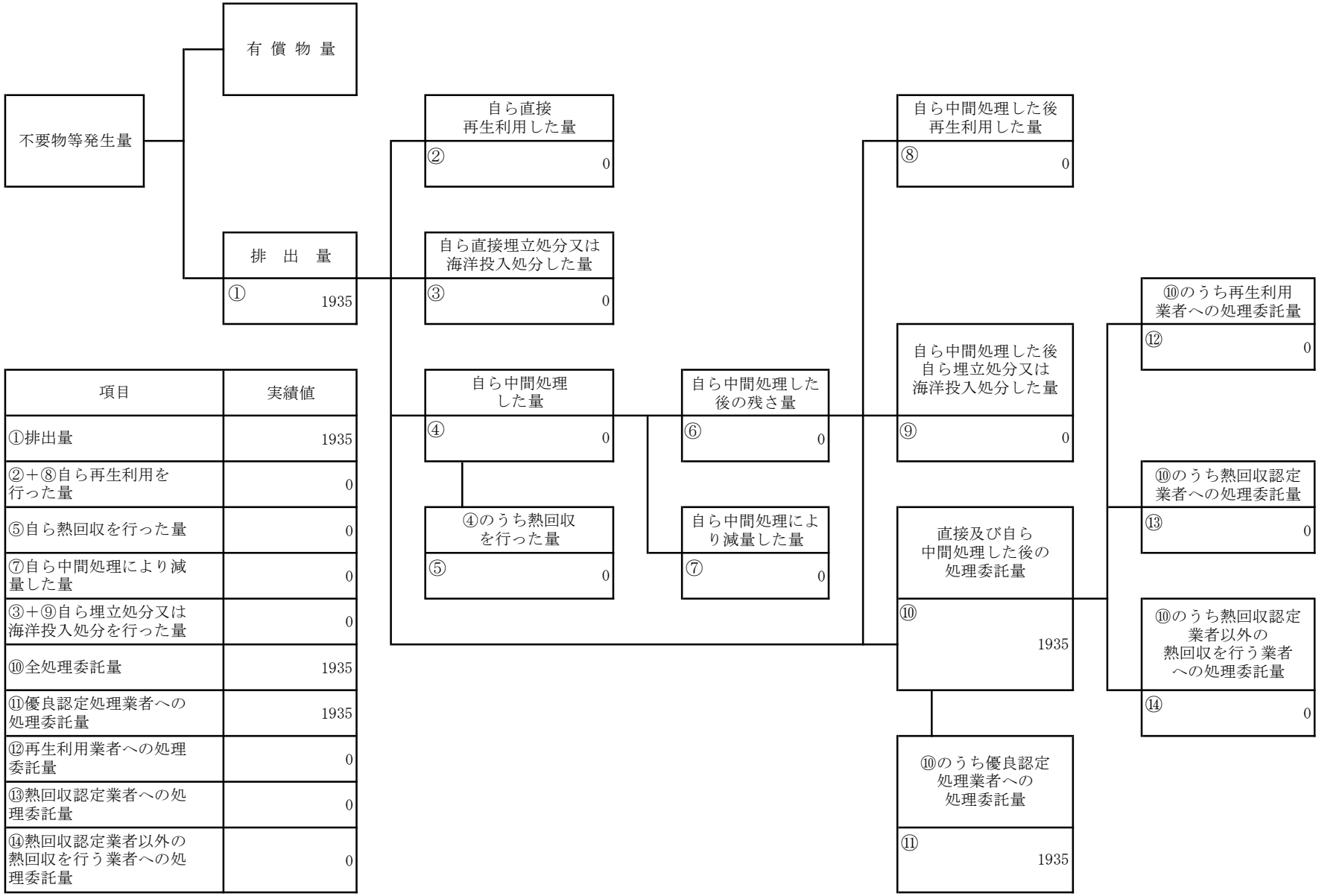
項目	目標値	項目	目標値
排出量	7,808 t	全処理委託量	3,354 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	4,454 t	優良認定処理業者への処理委託量	3,285 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	661 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	16 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

※事務処理欄	

(日本工業規格　A列４番)

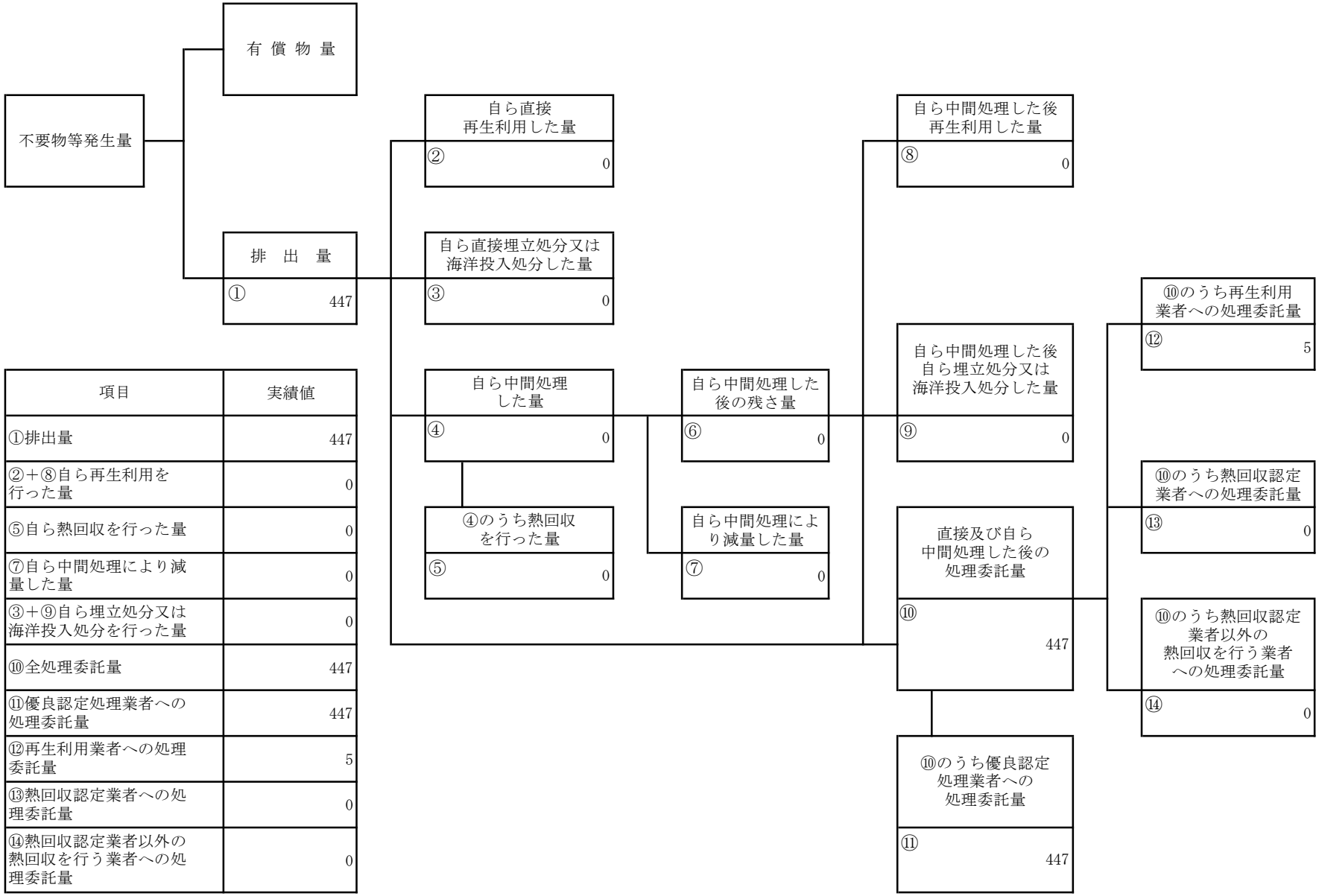
計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：鉱さい　　）



項目	実績値
①排出量	1935
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1935
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1935
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

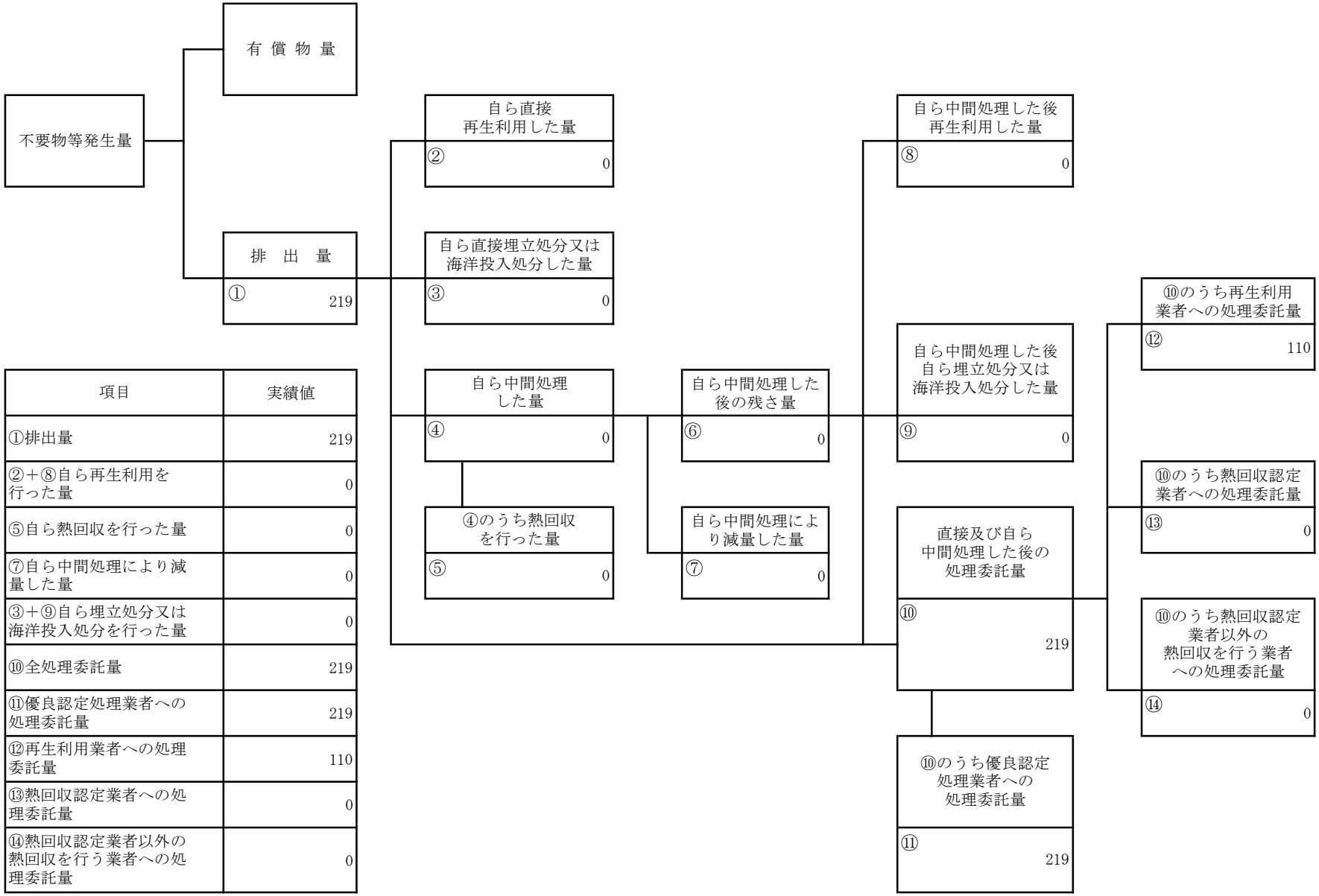
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　ガラスくず、コンクリートくずおよび陶磁器くず



項目	実績値
①排出量	447
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	447
⑪優良認定処理業者への処理委託量	447
⑫再生利用業者への処理委託量	5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

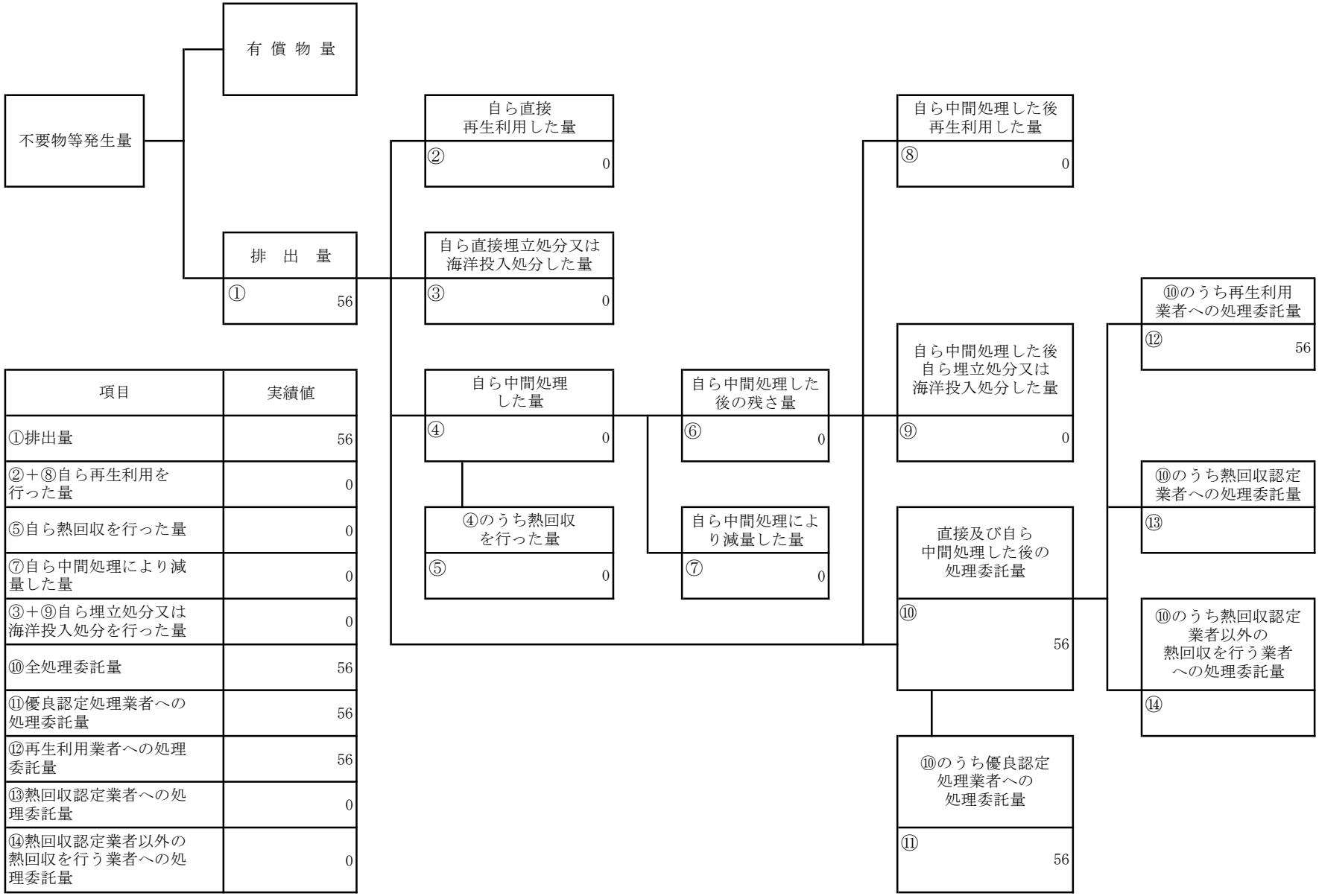
（産業廃棄物の種類：　ばいじん



項目	実績値
①排出量	219
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	219
⑪優良認定処理業者への処理委託量	219
⑫再生利用業者への処理委託量	110
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

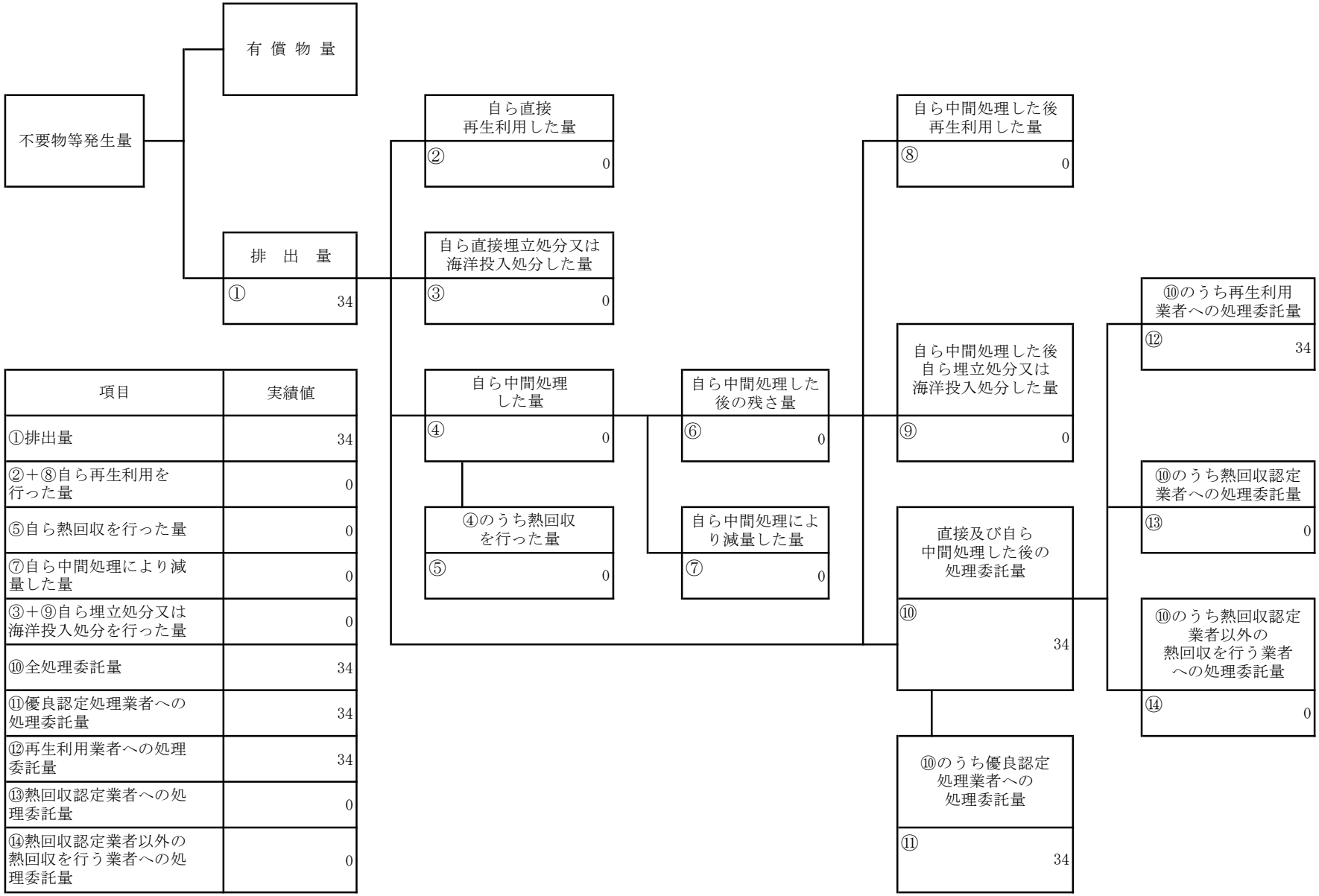
（産業廃棄物の種類：　廃油　　）



項目	実績値
①排出量	56
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	56
⑪優良認定処理業者への処理委託量	56
⑫再生利用業者への処理委託量	56
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

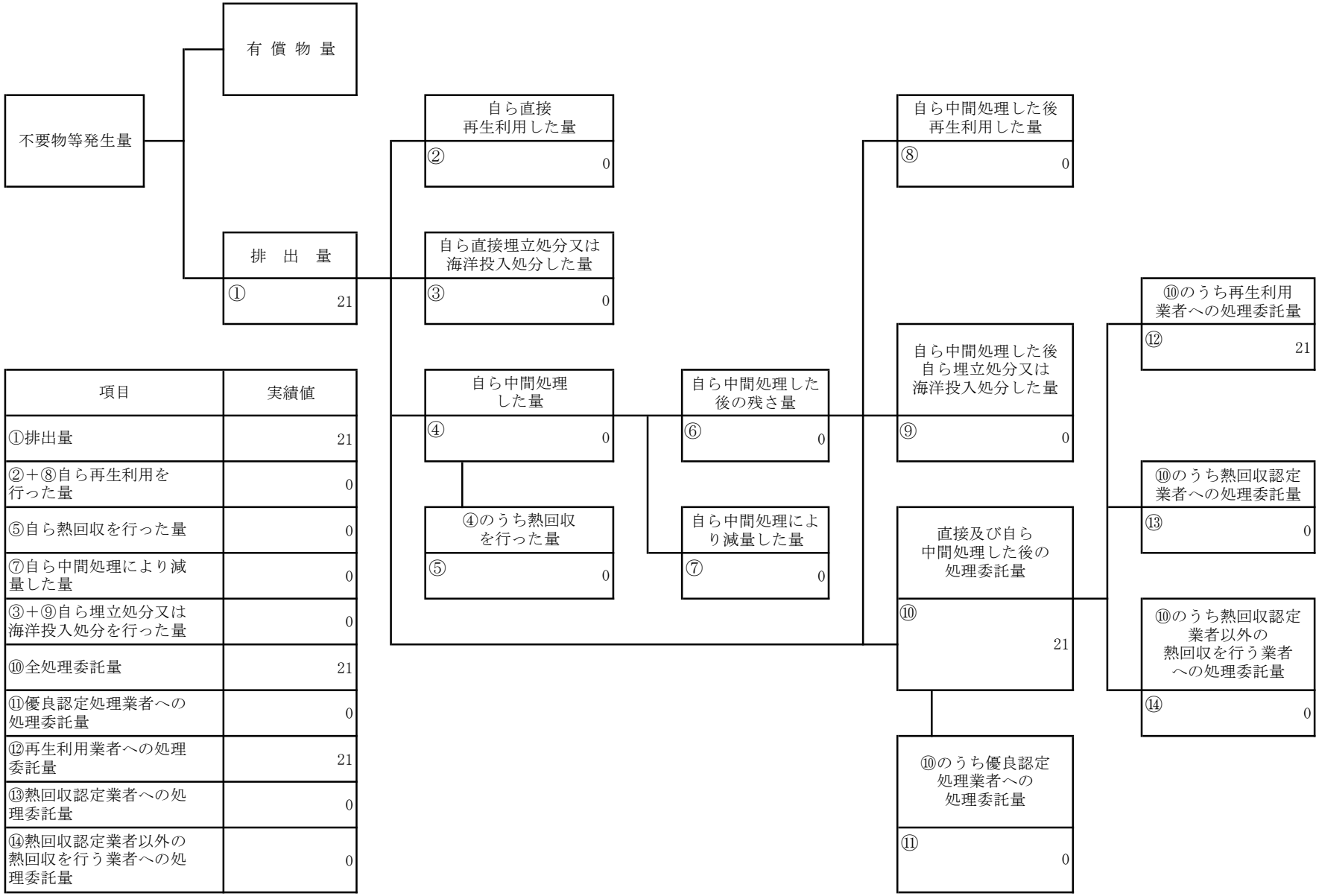
（産業廃棄物の種類：　木くず　　）



項目	実績値
①排出量	34
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	34
⑪優良認定処理業者への処理委託量	34
⑫再生利用業者への処理委託量	34
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

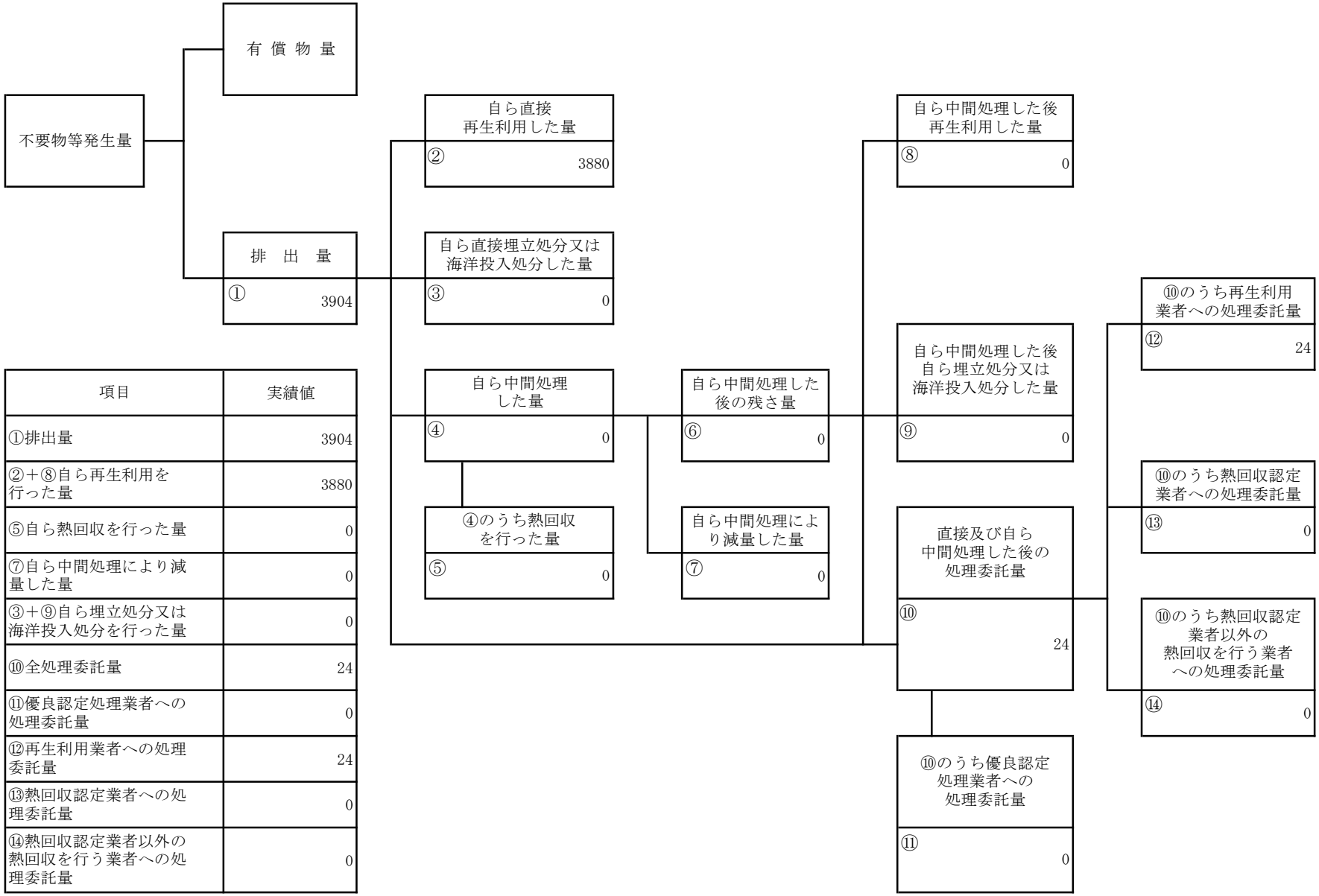
（産業廃棄物の種類：　廃プラスチック類　　）



項目	実績値
①排出量	21
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	21
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	21
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　金属くず　　）



項目	実績値
①排出量	3904
②＋⑧自ら再生利用を行った量	3880
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	24
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	24
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

1　翌年度の６月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月6日

北九州市長　武内和久　様

提出者
住　所　北九州市戸畑区大字中原46番地の59
氏　名　日鉄ロールズ株式会社
代表取締役社長　藤野　真
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号　093-872-7105

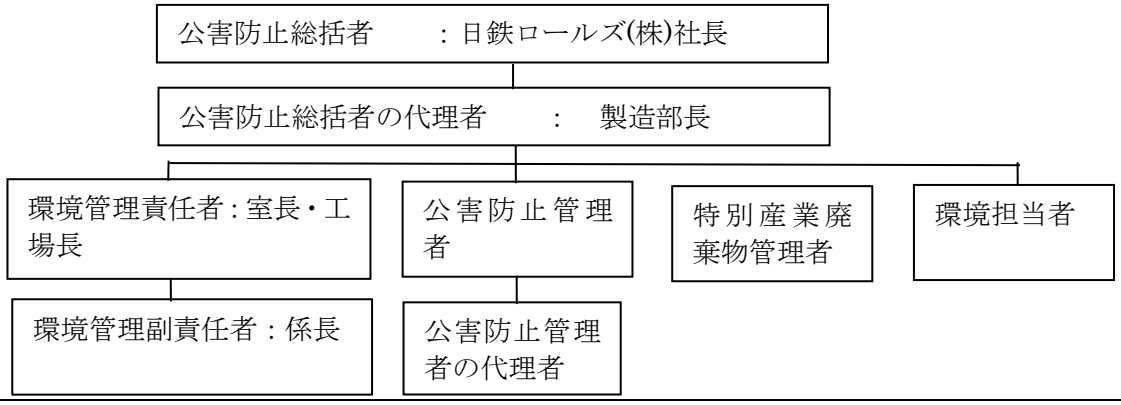
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日鉄ロールズ株式会社
事業場の所在地	北九州市戸畑区大字中原46番地の59
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	生産用機械器具製造業
②事業の規模	前年度売上額　7,993百万円
③従業員数	225名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（資料1）のとおり

(日本工業規格　A列４番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（　令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙（資料2）の通り	
	排　出　量	6,616 t	t
	（これまでに実施した取組） ・分別の徹底 ・購入品梱包材の簡素化推進		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙（資料3）の通り	
	排　出　量	5，935 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・分別の徹底 ・購入品梱包材の簡素化推進		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・金属くずの自ら再生利用の推進
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・金属くずの自ら再生利用・廃棄物の分別管理強化による有価売却の推進

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和4年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙（資料2）の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>3,880 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・分別徹底、産廃処理の削減を行い再生利用原料化を推進</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙（資料3）の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>3,481 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・分別徹底の継続</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和4年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙（資料2）の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・無し</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙（資料3）の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・無し</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和4年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙（資料2）の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
無し</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙（資料3）の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
無し</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和4年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙（資料2）の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>2,736 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>2,668 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>226 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>00 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・自ら再生利用の拡大、分別管理強化による有価物化</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙（資料3）の通り</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>2,454 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>2,282 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>00 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）
・自ら再生利用の拡大継続
・有価化売却先の模索</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

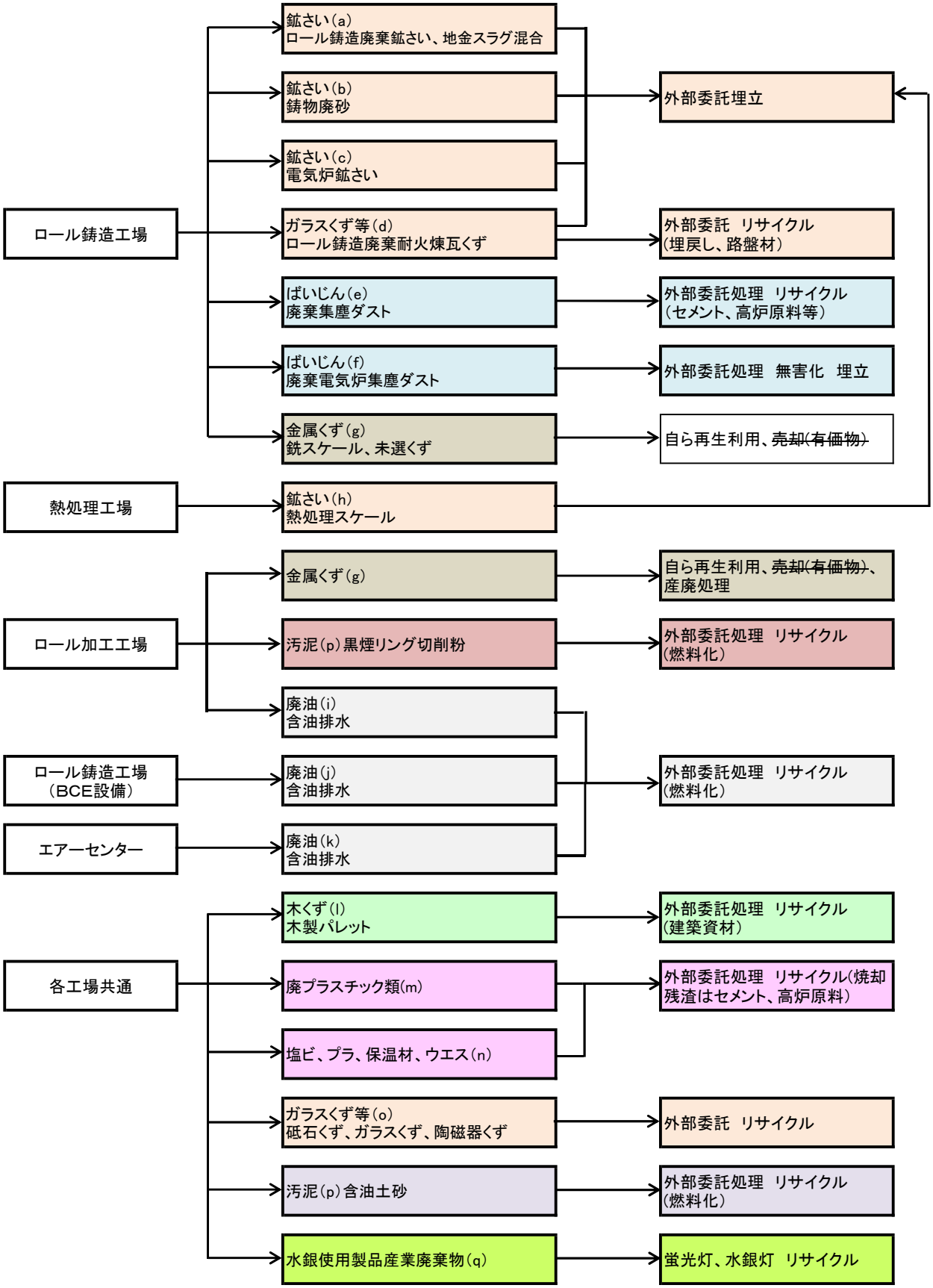
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙（資料1）

産業廃棄物の一連の処理工程



別紙 （資料2） 令和4年度産業廃棄物排出量の実績

単位：t／年

種類		品名	R4年度 排出量目標	R4年度 排出量実績	実績（令和4年度） 直接 再生利用	直接 埋立処分	④自ら行う中間処理	熱回収	処理後残渣	減量	自ら行う中間処理後 再生利用	埋立	⑩処理委託	優良認定業者	再生利用	熱回収業者	熱回収業者外	埋立	有価物 排出量外	備考
				①	②	③		⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		⑪	⑫	⑬	⑭	⑩−⑫		
鉱さい	c	電気炉鉱さい	455	397	0	0	0	0	0	0	0	0	397	397	0	0	0	397	0	埋立
	b	鉱さい(鋳物廃砂)	438	420	0	0	0	0	0	0	0	0	420	420	0	0	0	420	0	埋立
	a	鉱さい（地金等混合）	1,269	1,077	0	0	0	0	0	0	0	0	1,077	1,077	0	0	0	1,077	0	埋立
	h	鉱さい（熱処理スケール等）	40	41	0	0	0	0	0	0	0	0	41	41	0	0	0	41	0	埋立
		計	2,202	1,935	0	0	0	0	0	0	0	0	1,935	1,935	0	0	0	1,935	0	
ガラス、陶磁器	d	ロール鋳造廃棄耐火煉瓦	475	442	0	0	0	0	0	0	0	0	442	442	0	0	0	442	0	埋立
	d	耐火煉瓦選別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	リサイクル
	O	ガラス、砥石、陶磁器	7	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	5	0	0	0	0	リサイクル
		計	482	447	0	0	0	0	0	0	0	0	447	447	5	0	0	442	0	
ばいじん	e	鋳物砂集塵ﾀﾞｽﾄ	123	154	0	0	0	0	0	0	0	0	154	110	110	0	0	44	0	リサイクル、埋立
	f	電気炉集塵ﾀﾞｽﾄ	83	65	0	0	0	0	0	0	0	0	65	65	0	0	0	65	0	埋立
		計	206	219	0	0	0	0	0	0	0	0	219	175	110	0	0	109	0	
廃油	ij	含油排水	357	56	0	0	0	0	0	0	0	0	56	56	56	0	0	0	0	燃料としてﾘｻｲｸﾙ
木屑	l	木製ﾊﾟﾚｯﾄ	28	34	0	0	0	0	0	0	0	0	34	34	34	0	0	0	0	建築資材としてﾘｻｲｸﾙ
廃プラ	m n	塩ビ、ﾌﾟﾗ	27	21	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	21	0	0	0	0	溶鉱炉精錬材料等
金属	g	銑ｽｹｰﾙ、金属屑	4,490	3,904	3,880	0	0	0	0	0	0	0	24	0	24	0	0	0	678	3880tは工場の原料にリサイクル、678tは売却
	g	研削盤研削屑（金属）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		計	4,490	3,904	3,880	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	678	
汚泥	p	黒鉛リング切削粉、含油土砂	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	熱回収
水銀使用製品	q	蛍光灯・水銀灯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		合計	7,808	6,616	3,880	0	0	0	0	0	0	0	2,736	2,647	226	0	0	2,486	678	

別紙 （資料3） 令和5年度産業廃棄物排出量の目標

単位：t／年

種類		品名	R4年度 排出量実績	対R4実89.7% 令和5年度 排出量目標	目標（令和4年度） 直接 再生利用	直接 埋立処分	④自ら行う中間処理	熱回収	処理後残渣	減量	自ら行う中間処理後 再生利用	埋立	⑩処理委託	優良認定業者	再生利用	熱回収業者	熱回収業者外	埋立	有価物 排出量外	備考
				①	②	③		⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		⑪	⑫	⑬	⑭	⑩−⑫		
鉱さい	c	電気炉鉱さい	397	356	0	0	0	0	0	0	0	0	356	356	0	0	0	356	0	埋立
	b	鉱さい(鋳物廃砂)	420	377	0	0	0	0	0	0	0	0	377	377	0	0	0	377	0	埋立
	a	鉱さい（地金等混合）	1,077	966	0	0	0	0	0	0	0	0	966	966	0	0	0	966	0	埋立
	h	鉱さい（熱処理スケール等）	41	37	0	0	0	0	0	0	0	0	37	37	0	0	0	37	0	埋立
		計	1,935	1,736	0	0	0	0	0	0	0	0	1,736	1,736	0	0	0	1,736	0	
ガラス、陶磁器	d	ロール鋳造廃棄耐火煉瓦	442	396	0	0	0	0	0	0	0	0	396	396	0	0	0	396	0	埋立
	d	耐火煉瓦選別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	リサイクル
	O	ガラス、砥石、陶磁器	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	5	0	0	0	0	リサイクル
		計	447	401	0	0	0	0	0	0	0	0	401	401	5	0	0	396	0	
＊1：ばいじん	e	鋳物砂集塵ﾀﾞｽﾄ	154	138	0	0	0	0	0	0	0	0	138	0	100	0	0	38	0	リサイクル、埋立
	f	電気炉集塵ﾀﾞｽﾄ	65	58	0	0	0	0	0	0	0	0	58	58	0	0	0	58	0	無害化埋立
		計	219	196	0	0	0	0	0	0	0	0	196	58	0	0	0	96	0	
廃油	ij	含油排水	56	50	0	0	0	0	0	0	0	0	50	50	50	0	0	0	0	燃料としてﾘｻｲｸﾙ
木屑	l	木製ﾊﾟﾚｯﾄ	34	31	0	0	0	0	0	0	0	0	31	31	31	0	0	0	0	建築資材としてﾘｻｲｸﾙ
廃プラ	m n	塩ビ、ﾌﾟﾗ	21	19	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	19		0	0	0	溶鉱炉精錬材料等
＊1：金属	g	銑ｽｹｰﾙ、金属屑	3,904	3,502	3,481	0	0	0	0	0	0	0	21	0	21	0	0	0	600	3880tは工場の原料にﾘｻｲｸﾙ、678tは売却
	g	研削盤研削屑（金属）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		計	3,904	3,502	3,481	0	0	0	0	0	0	0	21	0	21	0	0	0	600	
汚泥	O	黒鉛リング切削粉、含油土砂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	熱回収
水銀使用製品	q	蛍光灯・水銀灯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		合計	6,616	5,935	3,481	0	0	0	0	0	0	0	2,454	2,276	126	0	0	2,228	600	